



# 前原中だより

船橋市立前原中学校

第2号

令和5年5月9日発行

- 教育目標 「調和のとれた人間性豊かな生徒の育成」
- (1) 確かな学力・自ら学んでいく生徒を育成する
  - (2) 豊かな心・他者を思いやる生徒を育成する
  - (3) 健やかな体・健康で活力のある生徒を育成する

## 前原とその周辺 ～校章の由来～

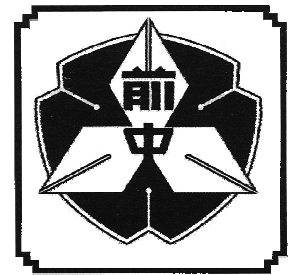
前原中学校長 今井 弘

穀雨の候、保護者の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また日頃から、本校の教育活動にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本校の教育目標は、上記に記載したとおりですが、船橋市には、「教育の施策に関する基本的な計画」として位置づけられている『船橋の教育 2020－船橋市教育振興基本計画－』があります。そして、特に留意する事項として、6つの取り組みに力を入れています。そのうちの1つに、「ふるさと船橋」への思いの育みがあります。故郷である「ふるさと船橋」を誇りに思い、大切に作る気持ちを育む教育を推進しています。

私は、「ふるさと船橋」につながるよう前原中学校の子供たちには、母校に対する愛着と誇りをもってほしいと思います。そのために、学校だよりで学校や前原とその周辺地域のことを紹介していこうと思います。

最初に紹介するのは、校章の由来です。毎日のように見ている校章には、制作者の思いが込められています。校章が誕生したのは、前原中学校創立の年である昭和36年7月10日のことです。開校直後に校章図案を公募し、その作品の中から現在の校章の図案が採用されました。



図案を作ったのは、当時中学2年生だった川倉一彦氏です。この校章は、一番内側に学校名を、それを包み込んでいるペンをデフォルメした図案が学習を、さらに外側の台座は堅固な土台を表しています。ペンと台座を3つ組み合わせてあるのは、前原・中野木・前原団地の3地域がしっかりと手を取り合っていくことを表しています。

前原団地は、開校の前年である昭和35年の10月に入居が開始されました。高度経済成長に伴う住宅不足を解消するため、船橋市で初となる公団住宅でした。現在、前原団地は、その姿を大きく変えましたが、校章に込められた思いを引き継ぎ、子供たちのために地域と連携して、開かれた学校づくりをめざしていきたいと思っています。

# 学校と教育委員会からのお知らせ

## ◇ 令和5年度モバイルルーター等貸し出しについて

今年度も1人1台端末をご家庭で活用（緊急時のオンライン授業への参加や家庭学習）するにあたり、インターネット環境がないご家庭に、船橋市からモバイルルーターの貸与があります。SIMなしとなりますので、SIMの利用契約等は各ご家庭で行っていただきますので、利用にかかる費用はご家庭の負担となります。また、就学援助認定家庭や生活保護受給家庭には、通信機能付き（SIM付き）モバイルルーターを貸与します。（インターネット環境が整った家庭や転出等でモバイルルーターが必要なくなった場合は、回収いたします。）

つきましては、ご希望されるご家庭は学校（担当：教頭）までご連絡ください。

## ◇ 避難訓練を行いました。

4月14日（金）に全校生徒による避難訓練が実施されました。ここ数年コロナの影響と天候に恵まれず、避難経路の確認やシェイクアウト訓練（ランダムに緊急放送を流し、頭部を守る訓練）しかできませんでした。今年度は天候に恵まれ、実際に避難経路を歩いて校庭への避難訓練を実施することができました。生徒たちの取り組みも良く、静かに真剣な態度で訓練ができていました。

## ◇ メール登録のご案内

今年度も多くの保護者の皆様に「学校配信メール」を登録いただきありがとうございます。

学校からの案内や船橋市教育委員会からの案内・PTAからのお知らせなどを配信させていただいております。本メールは「保護者」「祖父母」等、ご家族の方を3名まで登録できます。

つきましては、各学年のメールのクラス移行も終わりましたので、より多くのご家族の方に登録いただきたいと思いますので、再度登録方法を裏面（ホームページには掲載しません）に掲載しました。登録方法をご確認いただき登録のほどよろしく願いいたします。

## ◇ 地域から前中生への感謝の連絡がありました。

昨年度も、地域の方から倒れた方の人命救助や事故の交通整理などを前原中学校の生徒が行ってくれたと感謝の連絡をいただきましたが、今年度の4月も2件連絡をいただきました。

1件目は、夕方に小学3年生の男の子が鍵がなくて家に入れず寒くて困っていたところ、通りかかった女子生徒が声をかけ、ルームまで連れて行ってくれたそうです。ルームから母親へ連絡がありとても助かったとの感謝のメールをいただきました。

2件目は、他県から来た高齢の女性が道が分からず困っていた際、男子生徒3名が前原駅まで案内してくれたと感謝の電話がありました。

どちらも声をかけることすらためらってしまいそうな中、心優しく勇気をもって行動できる前原中学校の生徒は、本当に素晴らしいと感動しました。先輩たちから続く、この思いやりの輪がさらに続いて広がっていくことを願っています。